



第3部 官庁訪問を知ろう！



第3部 官庁訪問を知ろう！

第3部では、経験しなければなかなか掴めない官庁訪問の実態をお伝えします。前半では、環境省の官庁訪問の基本的な情報を、後半では、春季と夏季の官庁訪問参加者に分かれて行われた座談会をまとめています。訪問前のイメージトレーニングにお役立てください。なお、掲載している情報はあくまで令和5年度官庁訪問における経験に基づき、内定者の視点から作成されたものであり、来年度以降の官庁訪問のシステムや内容は以下と異なる可能性があります。特に令和5年度では、一部の面接がオンライン形式で実施されました。

□ 官庁訪問（総合職）の基本情報

令和5年度官庁訪問は、例年通り春季と夏季の2度実施されました。環境省では春季の第1クールはオンライン形式、第2クール以降は対面形式で実施され、夏季の第1クールはオンライン・対面の選択形式、第2クール以降は対面形式で実施されました。春季は理工系区分の既合格者を対象として6月上旬に全3クール、夏季は国家総合職試験最終合格者発表後の6月中旬～下旬に全4クール実施されました。最新の詳しい官庁訪問の日程、ルール等は、人事院のWebサイトでしっかり確認しましょう。以下、官庁訪問の流れ、面接、服装、基本データについてまとめます。

□ 官庁訪問（総合職）の簡単な流れ

①官庁訪問前

環境省Webサイトから申込に必要な書類（面接カード等）をダウンロードし、記入します。その後、指定された期間に上記資料を添付してメールを送り、官庁訪問の予約を行います。

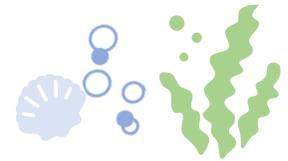
②官庁訪問期間中

令和5年度はオンライン、対面の双方実施されました。どちらの形式であっても初日から面接が数回実施されました。オンライン形式の場合は環境を整え、メールの指示に従いルームに参加します。面接だけでなく、グループディスカッションが行われる場合もあります。面接は複数日にわたり日によって形式が異なる可能性があるため、臨機応変に対応しましょう。

③官庁訪問最終日（最終クール）

内々定！





□ 官庁訪問（総合職）の面接

面接回数は人によって異なりますが、複数回行われます。面接では面接カードをもとに質問されたり、自己PRを求められたりします。加えて、説明会では聞けない具体的な業務内容を聞いたり、政策について議論したりすることによって、しっかりと環境省の業務内容を理解することができます。

時間は1回30分から1時間程度です。面接終了後から次の面接に呼ばれるまで時間がかかりますので、その間は面接の振り返りをしたり、ノートや面接カードを見かえしたりして、次の面接に備えましょう。

また官庁訪問終了時刻は官庁によって異なりますが、環境省は比較的早い時間に終了します。

□ 官庁訪問（総合職）の服装

官庁訪問はクールビズ期間中に実施されることが多く、軽装が推奨されています。そのため、志望者も半袖シャツを着たり、ネクタイを外した状態で面接を受けることが可能です。もちろん、温度調節や気持ちの切り替えのため、ネクタイやジャケットを着用しても大丈夫です。

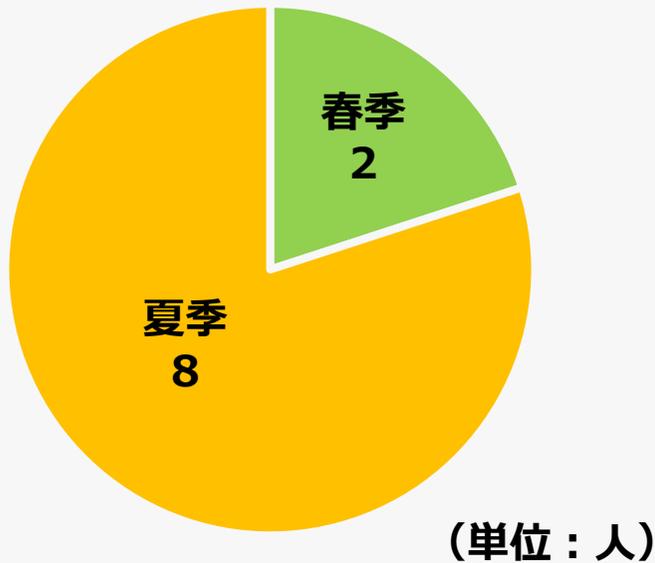


□ 官庁訪問（総合職）の基本データ



□ 官庁訪問時期

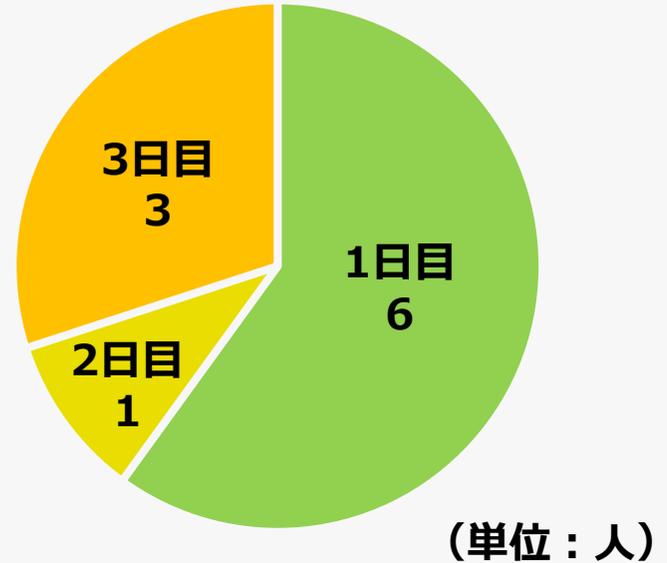
令和6年度入省予定内定者



官庁訪問は例年通り春季と夏季の2度実施されました。

□ 環境省の初回訪問日

令和6年度入省予定内定者



2日目、3日目に訪問した内定者もいました！

□ 併願した省庁

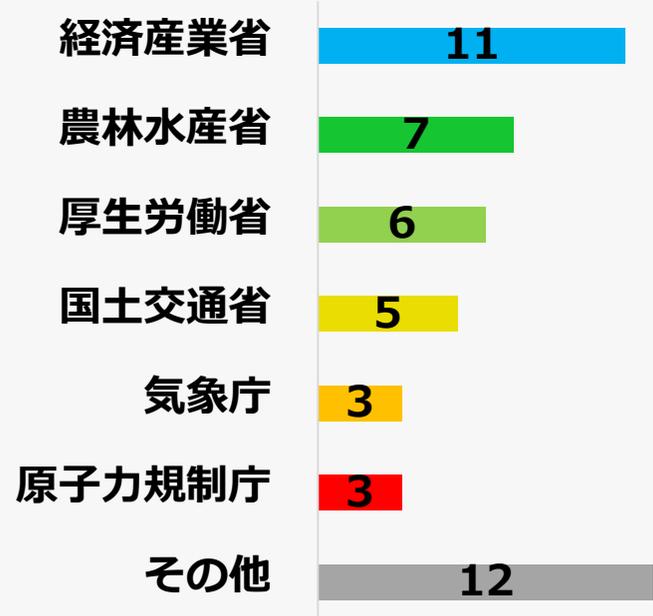


令和6年度入省予定内定者



※ 複数官庁の併願を含む。

過去5年間



※ その他：水産庁/科学警察研究所/特許庁など。

※ 複数官庁の併願を含む。

(単位：人)



□ 説明会参加回数

令和6年度入省予定内定者



9人が一度は環境省の説明会に参加しており、7人は6回以上参加していました！なんと20回以上参加している人もいました！

□ 主な併願進路

国立研究開発法人、税務署、市役所、シンクタンク、自動車メーカー、エネルギー系商社、独立行政法人（環境系）など。



ここまでは、官庁訪問の概要や基本データについて記してきました。いかがだったでしょうか。

それでは、次のページから座談会のパートになります！
令和6年度入省予定内定者10名により、官庁訪問の準備や官庁訪問中の様子などについてお伝えできればと思いますので、ぜひお楽しみください♪



～1組目～

座談会メンバー

- 赤ずきん**（春）：23歳・女・東京都出身
まめ（春）：25歳・男・兵庫県出身
フクロウ（夏）：25歳・男・兵庫県出身
わい（夏）：24歳・男・千葉県出身
リター（夏）：24歳・男・愛知県出身



【官庁訪問に向けて準備したことは？】

- わい**：公務員試験前は環境省の説明会にあまり参加できていなかったから、試験後の座談会に積極的に参加したり、**環境白書を読み込んで面接カードを固めたり**した！
- まめ**：僕も白書を読むことで環境問題や環境省の仕事を体系的に知ることができたな。
- フクロウ**：僕は説明会にかなり参加していて、その都度**自分が感じたことや疑問**をまとめたりしていたよ。
- 赤ずきん**：私も説明会にいっぱい参加していた！特に環境省職員さんと**1対1でできる個別面談**は官庁訪問の役に立ったと思う！
- リター**：自分はやりたい業務が明確だったので、それをきちんと伝えられるよう固めていったよ。

【民間企業の面接と比べてどんな印象をもった？】

- リター**：業務の説明を丁寧にしてきて、それについての議論が多かったかなあ。
- フクロウ**：そうだよね、その**説明を受けて自分ならどうするか**っていう議論も結構多かった印象だなあ。あとかなりの人数の方と面接したのが印象的！
- わい**：各日程の最後に、採用担当の人と「今日1日通してどうだった？」みたいなことを聞かれたりするのでも大きな違いだね！そこで**自分の気づきや成長を伝えたりする**のがポイントかも？

【官庁訪問ではどんな質問をされた？】

まめ : 修士の人は**自分の研究**について絶対聞かれるよね！

赤ずきん : そうだね、私は環境系の研究をやっているから、**研究のテーマを中心にディスカッション**をすることが多かったなあ。

フクロウ : 僕は業務や今ある課題に対して**どう考えるかやどこが問題点**かっていう話題が多かったな～。

わい : 例えば「この業務について1億円予算があったら何に使う？」みたいな質問をされて、たじたじになっちゃった（笑）

【評価されたと感じたところは？】

まめ : 自分が書いた面接カードに関しては、即答できるようにしたよ。

フクロウ : 最後の方の面接では、これまでの説明会や官庁訪問で学んだことを踏まえて自分の意見を言えたことが評価された気がするな～。

リター : 想定していない質問に対しても、**論理的な答え方**を心がけていたのが評価に繋がったかも。

赤ずきん : 分からなかった部分は**素直に伝えて吸収しようとした姿勢**がよかったって出口面接で言われた！

フクロウ : 僕は既卒で空白がある状態だったし、環境省の業務とはあまり関係ない研究をやっていたけど、**その理由についてきちんと伝えられた**のがいい感触だったかな。

リター : 僕も空白があったけど、**その期間していたこと、そこから環境省を志望するに至った経緯をきちんと説明**できたのがプラスになったかも。

わい : 他省庁も併願していたんだけど、これらについて**一貫した理由を伝えた**のが良かった気がする～。



【逆に反省点はある??】

リター : 僕は既存の業務やりたいことが明確だったけど、**逆に新しくやりたいこと**を聞かれたときうまく答えられなかったな。

赤ずきん : わかる～（笑）私も環境省で新たにすべきことについて聞かれて、つまってしまったなあ。

わい : 説明会にあまり参加できなくて、知識が足りなかったのが反省点かも。浅い知識だと**深掘りされたときに答えに詰まっちゃう**こともあったし。

まめ : そうそう、でも知ったかぶりをしてしまうのは一番良くないよね。

フクロウ : **分からないことは分からない**と伝えた方が絶対好印象だね（笑）

【面接間の空き時間は何してた?】

赤ずきん : 春訪問は1日目がオンラインだったから、空き時間は寝転んだりリラックスしてた！

まめ : 確かに（笑）あと春訪問は人数がめっちゃ少なくて、2日目は1人で**面接カードを見返したり若手職員さんと雑談したり**していたかな。

リター : 夏訪問は逆に受験者同士で「どんな質問された?」とか雑談したりしてたなー。

フクロウ : 僕はひたすら環境白書を読んで追い込んでた！実は官庁訪問の直前にコロナに感染して、第1、2クールはオンラインで参加したんだ！ちなみに自分は関西に住んでいて、第2クールの結果を聞く頃には**最終の新幹線がなかったから夜行バスで移動**したよ(泣)。オンライン・対面の使い分けや何省庁受けるかを考慮して**前々から計画を立てる**ことをおすすめするよ！



【志望者に向けて一言！】

- わい** : 準備において不安になっている人も多いかも知れませんが、自分が**環境省で何をやりたいかを見つめ直して自分の言葉で話せる**ようになれば大丈夫だと思います。がんばってください！
- 赤ずきん** : 自分のやりたいことが環境省でできるのか、環境省で求められることを自分にできるのかを繰り返し考えることで、自信を持って環境省で働きたいと思えるようになりました。**官庁訪問の場で自分の将来について深く考えることもあり**だと思うので、興味がある人はチャレンジしてみてください！
- フウロウ** : 実際に**官庁訪問をしていく中で環境省の雰囲気**が自分にあっていることを感じ、志望度が更に上がりました。また、なかなか就職活動がうまく思い通りに行かないこともあるかも知れませんが、自分のように少し遅れて就職する人もいるので、思い詰めすぎず取り組んでください！！
- まめ** : 環境省だけでなく、**他の業界や企業についても調べたり説明会に行ったり**することで、環境省を志望する理由がより明確になると思います。内定までのプロセスは多く大変だと思いますが、頑張って計画的に取り組んでください！
- リター** : 官庁訪問は**双方向のコミュニケーション**が大事と特に感じました。自分がどう考えたかをわかりやすく説明するという練習をしておきましょう！



～2組目～

座談会メンバー

鮭おにぎり	(夏)	: 22歳・女・千葉県出身
Zumi Rock	(夏)	: 24歳・男・神奈川県出身
こうま	(夏)	: 23歳・男・東京都出身
琥珀	(夏)	: 23歳・女・神奈川県出身
川ジョ	(夏)	: 24歳・女・山形県出身



【官庁訪問に向けて準備したことは】

琥珀 : 私は説明会にはできるだけ参加したよ！**専門分野以外の業務説明にも積極的に参加**してみることで、官庁訪問で話せることが増えた気がする～。

こうま : そうだよな、専門ではない部分も意識して参加したよ。説明会を踏まえて**自分の感想や意見をまとめる**ことで、頭の整理になったなあ。あと受かった人の体験記を見ることでやる気が刺激されたかも！

鮭おにぎり : 私は話す内容を事前に簡潔にまとめて、何度も練習した！

【民間企業の面接と比べてどんな印象をもった？】

こうま : **一番は自分が言ったことに対してめっちゃ深掘りされること**かな（笑）僕が受けた民間では、そこまで深いディスカッションはなかったよ。

鮭おにぎり : たしかに民間では自分の強みや実績を言ったり、一方通行な感じがしたね。官庁訪問では過去の実績を話すより「**これから何をしたいか**」とか「**自分がどうなりたいか**」にみたいな未来について話すことが多かったね。

琥珀 : 私はシンクタンクや研究職を受けていて、そこでは自分の研究の話が多かったな。環境省は幅広い業務があるから、**毎回違うトピック**について話していた気がする。あと民間では1対10の面接とかもあったけど、**官庁訪問では多くて3人とか**だったのが印象的だね。



【官庁訪問ではどんな質問をされた？】

Zumi Rock : 解決すべき課題はいっぱいあると思うけど、**実際に政策として打ち出すにはどうすればいいか**って質問が印象的だったな。

琥珀 : 私もあった！あと、「他省庁も環境問題について考えているとは思って、**環境省しかできないこと**は何??」って聞かれた！

鮭おにぎり : 他省庁との違いについては考えておいたほうが良いね！

川ジョ : 特に第2志望を書いている人はね（笑）

【評価されたと感じたところは？】

Zumi Rock : 僕は面接官というより職員と話している感覚で、**来年から一緒に働く人との顔合わせ**と言う姿勢で堂々とするのを心がけたよ。

琥珀 : 私はあまり知らないトピックだったとしても、面接官と議論しながら**自分なりの考え**を話せたと思う！こういった姿勢が評価された気がするな～。

川ジョ : それめっちゃわかる！普段から考えていることをそのまま伝えて、そのまま評価された感じ！

こうま : 環境問題っていろんなことと関わり合っているから、**幅広く社会全体を考える必要がある**んだね！

鮭おにぎり : あと緊張したけど笑顔で答えたのもいい印象だったかも（笑）



【逆に反省点は？】

川ジョ : 面接官の質問にうまく答えられず無言になる時間ができてしまったな～。

こうま : 幅広く環境問題について聞かれて、カバーできなかったところがあった、

琥珀 : わかる！**自分の興味があるトピックだけでなくもう一つくらい深掘り**しておけばよかったかも。

Zumi Rock : 説明会にもう少し参加して、事前に情報収集すべきだったかも。

【面接の空き時間何してた??】

鮭おにぎり : 話すことをまとめたノートを見てた！

川ジョ : 私は面接の空き時間が4、5時間あったときがあって、自分の研究のデータまとめをしていたなあ。

Zumi Rock : 自分は仮眠をとって休んでいた！あと面接後大学に行かないといけなかったから、実験の準備とかしていたよ。

こうま : 僕は一緒の受験生と話したりしてリラックスしてた！

川ジョ : ちなみに私は一般職の試験の直後官庁訪問だったから、第1クールはめっちゃバタバタしてた（笑）



【志望者に向けて一言！】

Zumi Rock : 固くならず**自分のキャラクターを紹介する感じ**で話すと良いと思います！がんばってください！

鮭おにぎり : 面接の前はめちゃめちゃ緊張していたけど、**普段話せないような人と深い議論をするのが途中から楽しく感じていました！**本番では楽しみながら、なぜ環境省を志望したかをいっぱいぶつけてください！！

琥珀 : 官庁訪問に向けて質疑応答の練習とかいっぱい準備していくと思いますが、本番では**自然体でいることを心がけるとリラックスできる**と思います！応援しています！

川ジョ : 過去に環境省を訪問した先輩が、官庁訪問はお見合いのようなものだと言っていました（笑）変にこわばらず、**自分らしさを出して環境省との相性を確かめる感じ**で望みましょう！

こうま : 皆さんは不安を持ちながら必死に情報を集めたり勉強したりしていると思います。知識をつめこむことも大事ですが、**いかに自分の考えを自分の言葉で伝えられるかも大切**にしてください！応援しています！



おわりに

ここまで読んでいただきありがとうございます。いかがだったでしょうか。

本書は構成から内容まで、すべて内定者が主体となって作成しております。その分、一人一人のプロフィールや生の声に焦点を当てて、就活生にとって身近な就活本になるよう努めました。私たちがどのように試験対策に取り組み、試行錯誤し、どのような考えをもって、環境省を目指したのか、皆さんが環境省を将来の選択肢として考える際に少しでも役立てていただけたらと思っております。

この「内定者の声」は次に環境省を目指す皆さんへ我々内定者からのバトンです。私たちとともに、環境行政の最前線に立って、日本そして世界の未来を作っていきますか？ 内定者一同、皆さんをお待ちしています！



2023年12月 令和6年度入省予定 環境省総合職理工系内定者一同

